

学校法人 都築学園

専門学校 第一自動車大学校

令和4年度 学校関係者評価会議報告書

《評価対象期間》

自：令和4年4月1日 至：令和5年3月31日

学校関係者評価委員名簿

氏名	役職等
寺崎 浩二	一般社団法人福岡県自動車整備振興会 指導部部長
小池 孝典	九州日産株式会社 管理部企画・総務グループ 主担
波多江 貴志	福岡市立 東光中学校 校長
植松 真弥	U・S自動車代表 本校第2期卒業生

本校出席者

氏名	役職等
江崎 久	校長
吉田 智博	学生課長
本田 浩隆	学生課
松岡 宏和	教務課長
大家 隆弘	教務課
古江 正和	就職課
松尾 聡	事務係長

会議日時と場所：令和5年5月20日（土）10：00～ 第一自動車大学校 3階教室
次第

1. 開会及び校長挨拶
2. 学校関係者評価委員紹介
3. 第一自動車大学校職員自己紹介
4. 自己評価の結果説明
5. 自己評価に対する審議
6. 閉会

(1) 教育理念・目標

教育基本法及び学校教育法に従い本校の建学の精神である「個性の伸展による人生錬磨を校是とする」を掲げ、その方針に則り各自の能力及び特性に応じ社会の要求に即応した一級自動車整備士を6年、二級自動車整備士を30年以上に渡り育成し、我が国の自動車産業の技術の振興に寄与している。

また、自動車産業界の進歩と保安基準の変化に伴い高い技術を有する一級自動車整備士コースを開設するなど社会のニーズに応えた体制を整えるとともに、日本人学生と海外の多様な国からの留学生を広く受け入れ、グローバルな環境を活かして職業人養成を行い国際社会に貢献する学校を目指している。

【報告】1-3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱えていますか

(具体的取り組み)

電気自動車及びハイブリッド等自動車産業界の進歩と保安基準の変化に伴い高い技術を有する一級自動車メカニックコースを開設するなど社会のニーズに応えた体制を整えている。また、次世代のエネルギーを学び考える未来型パワーユニットコース開設など学ぶ環境も整えている。日本人学生と海外の多様な国からの留学生を広く受け入れ、グローバルな環境を活かして職業人養成を行い社会に貢献する学校を目指している。

(課題)

社会経済のニーズの継続的かつ的確な把握及び魅力的な専門学校づくりを行い、時代に適した実習車による教育が必要である。

(改善策)

高校及び業界団体との連携の更なる強化が必要である。

(2) 学校運営

学校設置当初から学校運営・目的に沿った「教育指針」を学校運営方針として定め、中長期的な視点のもと、教育に影響を及ぼす環境の変化や前年度の教育成果を分析し、年度の教育、就職支援、募集広報等について事業計画を策定し、法人の規程を遵守しつつ着実に校務を運営している。

【報告】2-3 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されていますか

(具体的取り組み)

法人の規定に学校運営組織、意思決定の権限・手続き等主要な事項が定められており、着実に実行している。

(課題)

学校としての法人規定の更なる具体化が必要である。

(改善策)

法人の規定を踏まえた学校の規定の整備・具体化が必要である。

(3) 教育活動

国土交通省の指定校として基準以上の教育及び学校独自の指定外教育等によりわかる教育、わからせる教育をモットーに、留学生を含む学生一人一人の個性を活かし、学力に合ったきめ細やかな授業体制の中で基本に力を入れ、一・二級自動車整備士合格率及び就職率100%達成に向けて全教職員一同全力を注いでいる。また、一・二級自動車整備士以外の自動車関連の資格取得を積極的に奨励し、学生の一・二級自動車整備士としての自覚及び技術の向上に努めている。

【審議内容】3-13 職員の能力開発のための研修等が行われているか

(具体的取り組み)

福岡近傍で企画される各社ディーラー主催による関連分野の研修会、JAMCA研修会、自動車整備振興会整備主任者研修、福岡県人権・同和教育研修会等に教員を参加させている。

(課題)

一級自動車整備士資格獲得のための環境の構築が必要である。

(改善策)

継続的な募集による教員の確保と教員の研鑽の場の提供が必要である。

福岡以外では夏季休養日が主となるが、各企業様、JAMCA研修が数カ所で行われておりますので、毎年職員が参加しているので、引き続き今年度も研修については積極的に参加していきたい。

(4) 学修成果

一級自動車メカニック整備士コース、メカニックコース、留学生基礎自動車整備士コースそれぞれ毎に明確な目標を設定し、結節毎の評価判定と個々に応じたきめ細やかな教育により、段階的な実力向上を図っている。

令和4年度は、自動車整備士国家試験を受験した留学生が100%合格できたことは、大きな成果であったが、日本人学生が一部合格できなかったことについて、今回の結果を踏まえてよく分析・検討し、教員の能力向上を含め今後の教育に反映していく。

退学率の軽減策については、担任制により、自己発見検査やスクールライフアンケートを活用した学生の心情等の把握に努めるとともに、職員間の情報の共有により組織的な体制を構築して退学率の軽減を図っている。

就職に関しては、日本人学生、留学生ともに100%就職できており、着実に就職指導の成果があがっている。

【審議内容】4-5 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか

(具体的取り組み)

インターンシップや就職支援の機会を活用し卒業生の現状把握に努め、教員間の情報共有による教育活動の改善に努めている。また、基礎コースにおいてビジネスマナー教育を取り入れキャリア形成の一助としている。

(課題)

就職担当教員や卒業生の担任による情報収集が主体となっており、十分把握出来ていない部分もある。

(改善策)

就職先企業等に対するアンケート調査の実施について検討する。

(5) 学生支援

就職支援策については、各種教育を通じて、入学時から学生の職業意識の涵養に努めるとともに、クラス担任及び就職担当によるきめ細やかな就職・進路指導により、概ね希望方面に100%就職できている。

経済的な支援に関しては、学校独自の特待生制度を保持するとともに、複数の担当事務職員の指定により高等教育の修学支援新制度を含めた日本学生支援機構の奨学金制度等を可能な限り有効に活用できるように、学生、保護者が利用しやすいきめ細やかな支援体制を整備し、懇切丁寧な対応に努めている。

【報告】5-7 卒業生への支援体制はあるか

(具体的取り組み)

卒業生の就職先へ適宜会社訪問を行うとともに、各ディーラーへのインターンシップの機会を通じて卒業生の激励や活躍状況の把握を行っており、卒業後も相談があればサポートする等支援体制も確立している。

(課題)

積極的な支援体制は整備できていない。

(改善策)

就職支援体制の強化による積極的な卒業生への支援が必要である。

(6) 教育環境

福岡市博多区の博多駅の近傍に位置しており、各社ディーラー等自動車関連の企業が多数集中する地域が、通学路と重なっていることから、職業意識の涵養や修学意欲の向上に適した恵まれた教育環境にある。

また、学生の居住する地域の近傍には、複数のディーラーや自動車整備工場が存在することから、希望のインターンシップ先で研修しやすい環境にある。

学校の施設・設備については、一級及び二級整備士養成施設として必要な基準を十分満たしており、施設の防火点検や車両用エレベーター等の保守点検等も定期的を受検し、合規適正に管理している。

【報告】6-1 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか

(具体的取り組み)

学校設置基準に基づき施設・設備を維持するとともに、計画的に必要な改修等に取り組み整備している。

(課題)

逐次進化する自動車の整備に必要な教材の確保が必要である。

(改善策)

自助努力による施設・設備の整備経費の節用と経費の効果的な運用が必要である。

(7) 学生の受け入れ募集

本校は開校以来、建学の精神である「個性の伸展」を重視し、整備士への夢と希望を持った生徒、社会人、工業系自動車科・コース以外の出身者、留学生を幅広く受け入れている。

地域的には九州・山口各県を中心に、教職員に担当区域を付与し、それぞれの担当区域内の高校訪問を計画的に実施し募集広報を行っている。

また、ホームページやパンフレット等、各種広報媒体に国家試験の合格状況や就職状況等の教育成果を正確に伝えている。

【報告】7-1 学生募集活動は、適正におこなわれているか

(具体的取り組み)

教職員による広報会議において年度における広報活動の取り組み方の共有を図り、教職員に広報担当区域を割り当てた学校訪問、進学ガイダンス等各種募集広報手段を駆使して学生募集活動を行っている。

(課題)

日本人学生、特に一級自動車メカニックコースの確保とともに、コロナ禍において減少している県外学生と留学生の確保が課題である。

(改善策)

日本人学生、特に一級自動車メカニックコースの学生確保とともに、留学生募集広報の強化が必要である。

(8) 財 務

学校法人都築学園全体として効率的・効果的な経営に取り組んでいるところであり、中長期的には学校の財務基盤は安定しているものと考えている。

また、私立学校法や学園規程に基づき、公認会計士による監査を行い、評議員会、理事会に報告するとともに、ホームページ上で情報公開している。

【報告】8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

(具体的取り組み)

学校法人全体として効率的・効果的な経営に取り組んでいるところであり、中長期的には学校の財務基盤は安定しているものと考えている。

(課題)

新型コロナの影響を考慮した安定的な学生の確保が必要である。

(改善策)

効果的かつ効率的な募集広報が必要である。

(9) 法令等の遵守・内部質保障

本校は文部科学省から認可された専修学校であり、国土交通省の一級・二級整備士養成施設であるため、専修学校としての文部科学省の設置基準を遵守するとともに、福岡陸運局による立ち入り検査を受検する等、法規適正に学校運営を行っている。

また、自己点検・評価を行い問題点の改善を図るとともに、その結果を学校ホームページで情報公開している。

【報告】9-1 法令・専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか

(具体的取り組み)

法令・専修学校設置基準に基づき、法人本部との連携を図りつつ適正に校務運営を実施している。

(課題)

特になし。

(改善策)

特になし。

(10) 社会貢献・地域貢献

若者の車離れが進んでおり、車に興味を持つ若者が減少する中、自動車業界や自動車整備士について高校生、中学生に幅広く知って貰うため積極的に体験学習等の授業を受け入れている。

また、留学生基礎自動車整備士コースでは、年2～3回、近隣の公民館で地域の住民と留学生の交流行事を催すとともに、年1回の献血や月1回の学校周辺地域の清掃活動を行っているが、令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、限定的な清掃活動ボランティア1回のみの実施となった。

【審議内容】10-3 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか

(具体的取り組み)

自動車業界や自動車整備士について高校生、中学生に幅広く知って貰うため積極的に体験授業等を受け入れている。

また、関連企業の外国人労働者に対する日本語教育を、本校で日本語教育を行っている非常勤講師が実施している。

(課題)

地域に対する公開講座・教育訓練受託のための態勢の確立が必要である。

(改善策)

地域に対する公開講座・教育訓練の計画の具体化と積極的なPRが必要である。

(11) 国際交流

少子化による国内の慢性的な労働力不足を踏まえ留学生基礎自動車整備士コースを設置し、海外の多様な国からの留学生を広く受け入れ、グローバルな環境を活かして日本人学生と留学生の職業人養成を行い国際社会に貢献する学校を目指している。

【審議内容】 11-3 留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか

(具体的取り組み)

クラス担任及び同補助者を指定するとともに、教員・事務職員全体で留学生に関する必要な情報を共有し適切に学習・生活指導等ができるよう体制を整備している。

(課題)

職員に母国語が理解できる者がいないため、緊急な場合に留学生の保護者との会話が難しくなっている。

(改善策)

留学生の中から各国1名通訳担当を選び、緊急の場合のみ通訳を通して保護者との連絡が取れることが必要である。

◎ 総 評

○ 一般社団法人福岡県自動車整備振興会 指導部部长 寺崎 様

昨年5月に自動車の整備制度の見直しが行われました。自動車整備士の資格を取得するためには、一種養成施設で実務経験年数の無い方は学校に入れば資格が取得できる。働いている人を対象として講習を受けて資格を取得する方は、例えば、高校の機械科を卒業された方が三級の資格を取得するのに通常であれば1年以上の経験が必要となりますが、機械科を卒業していれば半年の実務経験で資格を受けられる。これは同じように電気科とか電子科の高校を卒業しておけば短縮できる。三級を取得して次は二級を受ける時には何も短縮要件が無ければ三級合格後3年の実務経験がないと二級が取得できませんが、機械科を卒業しておけば通常3年のところを2年、同様に電気科・電子科も含まれるという短縮要件の幅が少し広がりました。

次に登録試験ですが、自動車整備士の新資格制度になりますと新資格制度の試験が令和9年3月から開始となります。一種養成施設の対応として、新資格制度の教習を始めるタイミングが、高校の自動車科につきまちは約3年かけて三級整備士を養成しますので、令和9年3月に試験が行われるということは、その3年前の令和6年から高校の自動車科は新資格制度の養成課程が始まります。その

準備期間として新しい三級の総合テキストが出来上がるのがその開始の半年前、今年の9月に販売する予定です。次にこちらの学校にも係りますが、二級になりますと養成期間が2年ということは令和9年の2年前ですので令和7年、令和7年の入学者からは新資格制度が始まります。二級テキストが出来上がるのはその半年前ですから、来年9月ぐらいにそのテキストが販売される。また、少し前ぐらいに養成の時間のカリキュラムが発表されると思います。それをもとに新しい講習の割り振りをさせていただいて養成施設の申請をしていただくという形になります。新旧交わる期間は、しばらくの間は新試験と旧試験が同時に行われるということになります。そうすると令和9年3月に二級ガソリンの試験を受ける人と、二級総合を受ける人とが存在するため、試験会場を間違えないようにしないといけなくなる。まだ日整連の方もまだ具体的されていません。来年9月には二級テキストが販売されますので、それをもとに教育予定を組んでいただくということになります。ただ二級総合になりますから、二級ジーゼル・二級ガソリン・二級自動二輪の教となりますので二輪の教材とかを揃えていただく形になります。学校としては三級の内容から教えられると思いますので、今年の9月時点で三級テキストを確認していただいて、三級総合にも二輪が含まれていますので、三級で二輪がこれぐらい必要、一年後に二級は二輪がどれぐらい必要なのかを確認していただいて、その二輪の内容を追加する形になるのではないかと思います。

また、二級総合になると今との違いは何かというと、一番大きなところは令和2年4月に特定整備制度の施行により電子制御装置の認証が始まりました。それまでは認証と言えば分解整備のみでしたが、自動ブレーキとか自動運行装置とかそのような車両が出てきましたので、その装置が誤作動して重大事故につながる恐れがある。実際に発生した事例もあることから、分解整備に合わせて電子制御装置の認証を取得していただくことになります。猶予期間は令和6年3月で今年度末までとなっております。学校も追加申請していただきまして、分解整備と電子制御装置を行っている事業所の看板は若草色に看板が変わります。現行の二級ガソリンもしくは二級ジーゼルの整備士の資格を取ったとしても、販売店に入社した時点でその事業所が分解整備と電子制御装置を取得された認証工場になっている場合は二級資格だけを持っていても整備士にはなれないので、電子制御装置の講習を修了する必要がある。ただ、二級総合になるとその講習の内容が含まれますので、その講習を受けなくてもいいということになります。学校としてエーミングに関するような講習をするためには必然的に電子制御装置の認証の追加申請をしていただくことになります。スキャンツール、ターゲット、マニュアルが必要となりますので準備していただいて追加申請をして下さい。

○ 九州日産株式会社 管理部企画・総務グループ 小池 様

今日の会議で学校の取り組みのすばらしさというのを改めて感じました。特に、留学生が100%合格ということで本当に誇れることではないかなと思います。我々も資格取得の変革期ということで非常に色々な資格取得が複雑となることから大変だと認識しています。私たちが出来ることはキャリアアップの中で、日産として自動化・電子化・知能化・自動運転技術等などメーカー側として取り組んできましたので、メーカーとタイアップして皆さんの方に資料等のご提供が出来ないか、教材のこともいわゆる実習車の台数を確保についても何か協力できる部分は無いかと我々企業として考えさせられる一面もありました。

また、地域貢献ということで我々が何かしら学校を通じて市域貢献に協力できればと、お手伝いしたいと感じましたのでこのあたりにつきましては、もっと学校との関係性を強めていけたらと感じております。

私たちの課題として、緊急連絡の整備について、我々も社会人ですから留学生を採用し、辞める場合本人の意思だからと親に連絡をするとかそんな必要はないと感じていたのですが、学校のやり方を聞いて重要だなと感じましたので、色々なお話を聞かせていただく等学校との連携が図りたいと思います。

○ 福岡市立 東光中学校 学校長 波多江 様

学校では自立学習者の養成ということで、自分で何でもできるよう取り組んでいます。中学校でよくあるのが、先生が叱って、怒ってきちんとさせるみたいなことですが、子供たちに任せてみると意外に保守的で、我々がここはきちんとしてほしいというところは、子供たちもきちんと守ってくれる。その部分でやはり子供たちのことをもっと考えないといけない、もっと社会に出て強くしていかないといけないと感じています。本校においては留学生を含めて安心・安全をきちんと担保して、そこから色々なことを考えられていることは素晴らしいと思いました。

使えていない新しいこととか、面倒を見て理解してやれではなくて、失敗した時にも自分で自分の弱点を考える。こういう子供たちが考えられるような探求学習、友達と話し合って考える力、先生が他に何かないかという教育を我々はしています。

離職の話も我々教育者として、離職しても次の所に行けるように、色々なことが次に見つかるように、難しいのが失敗した時の考える力、考え方として考え方を変えていく力をつけてもらう教育をしています。外国籍の方はやはり夢をしっかり持って来ているのか、夢があるから100%達成されているのか、では日本人はどうなのかと、我々はそれをフィードバックしていくと本当に勉強となりました。